

10. インターネットの情報はすべて本当なの？

インターネット上の情報は必ずしも正しいとは言えず、差別につながるようなデマやフェイクニュースも存在しています。

例えば、平成28年4月に発生した熊本地震の直後、インターネット上では、救済や物資を求める情報など、さまざまな情報が溢れました。その中には、「〇〇人が井戸に毒を投げ込んでいる」などの被災者を混乱させたり、関係する人々を深く傷つけたりする投稿もありました。

何も知らない人がこれらの情報を見たとき、情報を鵜呑みにしてしまって、偏見を持ってしまう可能性があります。さらに、その情報が拡散されることで、偏見が広まり、結果として差別が助長される恐れもあります。

